

平成 27 年度第 3 回農業実践研修

(2015 年度 JICA 能力強化研修連携コース)

研修案内

ADCA 青年会議では、これまで若手コンサルタント育成のための技術研修を実施して参りましたが、この度、JICA 国際協力人材部との共催により、今年度第 3 回目となります農業実践研修を JICA 能力強化研修と連携して開催いたします。研修内容は下記を予定しております。奮って御参加下さい。なお、今回から研修への参加は公募制となります、応募者多数の場合は参加者の調整を御願ひすることもございますので御理解の程何卒宜しく御願ひ致します。

参加資格要件：

- ・途上国現場（或いは国内）で農業・農村開発に関する業務経験を有する方
- ・海外における農業・農村開発分野の協力事業に従事している、あるいは従事する予定のある方

1. 研修テーマ：「唐箕の試作研修」

後発開発途上国の農業開発において、農民自ら作成可能な低価・簡便な作業機の普及が持続的発展に重要です。特に稲作栽培技術の普及においては、日本でかつて使われた唐箕が有効と考えられています。そのため、本研修では、農業農村開発分野に携わる専門家、コンサルタントに向けて唐箕製作及び使用法の習得を目的とした研修を実施いたします。

2. 講師：綿引 忠 氏（NPO 法人国際農民参加型技術ネットワーク技術顧問）

3. 大塚 寛治 氏（同技術顧問）

4. 日時：平成 27 年 12 月 21 日（月）～22 日（火）の 2 日間（9:45～17:30）

第 1 日目：午前 講義、午後 試作実習（前半）

第 2 日目：午前 試作実習（後半）、午後 動作試験、質疑応答

5. 場所：（独）国際協力機構 筑波国際センター 農業機械実習棟

6. 集合場所：（独）国際協力機構 筑波国際センター 研修棟フロント（集合時間 9:30）

7. 研修内容：唐箕の構造、試作及び圃場実習

【実習の流れ】

唐箕の構造と設計のポイント（ビデオを使った説明）⇒ 材料準備

⇒試作実習（最大で木製 3 チーム、鉄製 1 チーム）⇒動作試験

⇒質疑応答 ⇒ 実習棟清掃

8. 備考：

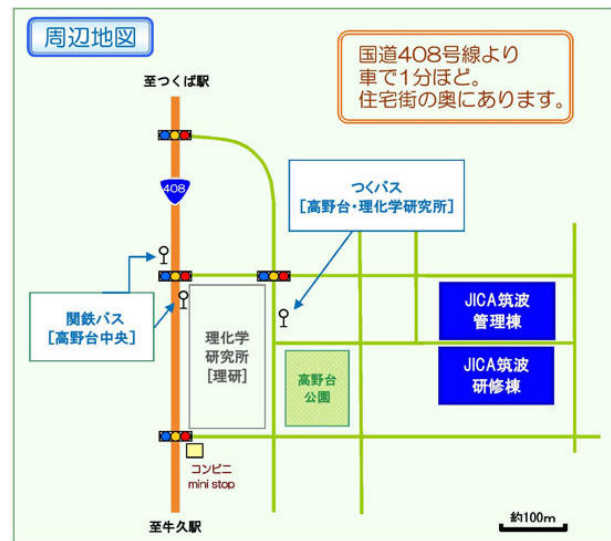
- 実習が多い研修となります。動きやすい服装で御参加ください。サンダル、ヒールなどは避けてください。
- 唐箕の試作実習を実施する実習棟では、JICA 技術研修員が共同試験、個別試験を行っています。資機材・工具等の持ち込み、持ち出しは出来ません。
- 昼食は持参、または JICA 筑波国際センター食堂を利用できます（500-600 円程度）。
- 雨天決行の予定です。屋根下の作業を予定しておりますが、各自必要に応じて、雨合羽等の雨具を御準備ください。

- 当日の研修風景などの撮影および外部発信（Facebook など）への協力依頼が JICA 筑波よりございます。不都合のある参加者・会社の方は事前に御連絡をお願い致します。
- 万一、事故等が発生した場合のため、各社におかれましては労災保険の適用をご確認ください。
- JICA 筑波国際センターへのアクセスは次項をご参照ください。

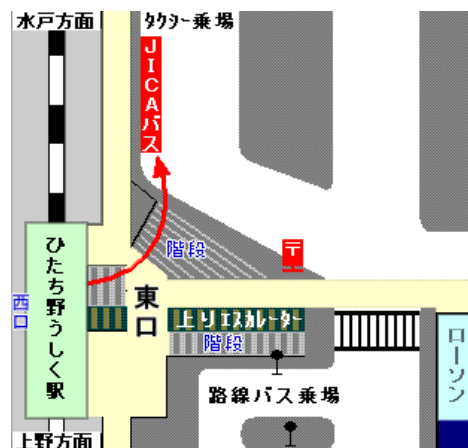
〈JICA 筑波国際センターへのアクセス〉

詳細は下記 URL 参照。

<http://www.jica.go.jp/tsukuba/office/>



- (1) JR 常磐線 牛久駅下車
つくば：西口 4 番 関東鉄道バス (約 14 分)
「高野台中央」下車 徒歩約 8 分 (片道 380 円)
- (2) つくばエクスプレス つくば駅下車
のりば：バスターミナル 2 番 つくバス南部シャトル (約 16 分)
「高野台・理化学研究所」下車 徒歩約 5 分 (片道 300 円)
- (3) JICA バス (朝の送迎用)
JR 常磐線 ひたち野うしく駅下車
東口出口を出て、左手の階段を下りた先で、
JICA バスに乗車できます。
発車時間 9:15



【JICA 筑波国際センター施設概要図】

集合場所：(独) 国際協力機構 筑波国際センター 研修棟フロント (集合時間 9:30)

